



# 2015年3月期 第2四半期決算説明会

---

シスメックス株式会社

代表取締役会長兼社長 家次 恒

2014年11月6日

## 本日の内容

---

Chapter 1      2015年3月期 第2四半期 決算総括

Chapter 2      2015年3月期 業績予想

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

## Chapter 1

---

# 2015年3月期 第2四半期 決算総括

# 決算総括

－ 売上高、全ての利益において  
過去最高を達成 －

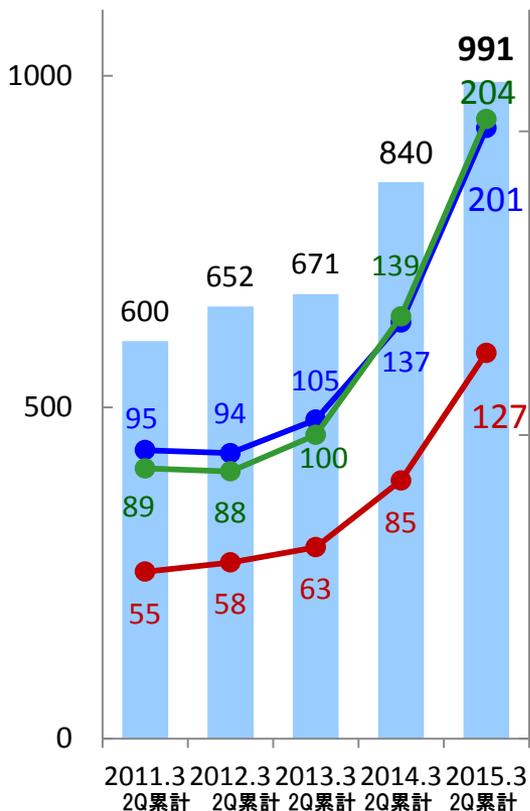


売上 (単位: 億円)  
利益

※2015年3月期1Qからサービスコスト等の会計方針を変更しています。 ※P23(参考情報)参照

※公表は2014年5月公表

(単位: 億円)



	2015年3月期2Q累計		2015年3月期 2Q累計		前年同期		前年同期比
	公表※	構成比	実績	構成比	実績	構成比	
売上高	1,000	100%	991.2	100%	840.7	100%	117.9%
売上原価	-	-	404.4	40.8%	312.8	37.2%	129.3%
販売費及び一般管理費	-	-	385.7	38.9%	390.8	46.5%	98.7%
営業利益	160	16.0%	201.0	20.3%	137.1	16.3%	146.6%
経常利益	160	16.0%	204.0	20.6%	139.5	16.6%	146.2%
当期純利益	100	10.0%	127.3	12.8%	85.9	10.2%	148.2%

- 売上高: 円安の影響もあり、海外を中心に二桁増収
- 営業利益: 増収効果および円安の影響もあり大幅増益
- 営業外損益: 為替差益 2.3億円 (前年同期 為替差益 0.7億円)
  - 為替の影響 売上: + 36.7 億円 営業利益: + 32.9 億円
  - ※前年同期為替レート適用の場合: 売上高 113.5%、営業利益 122.6%
- 設備投資(有形) 62.9億円 減価償却費52.7億円 研究開発費70.1億円

	15.3期 2Q累計実績	前年同期
1USD	103.0円	98.9円
1EUR	138.9円	130.0円

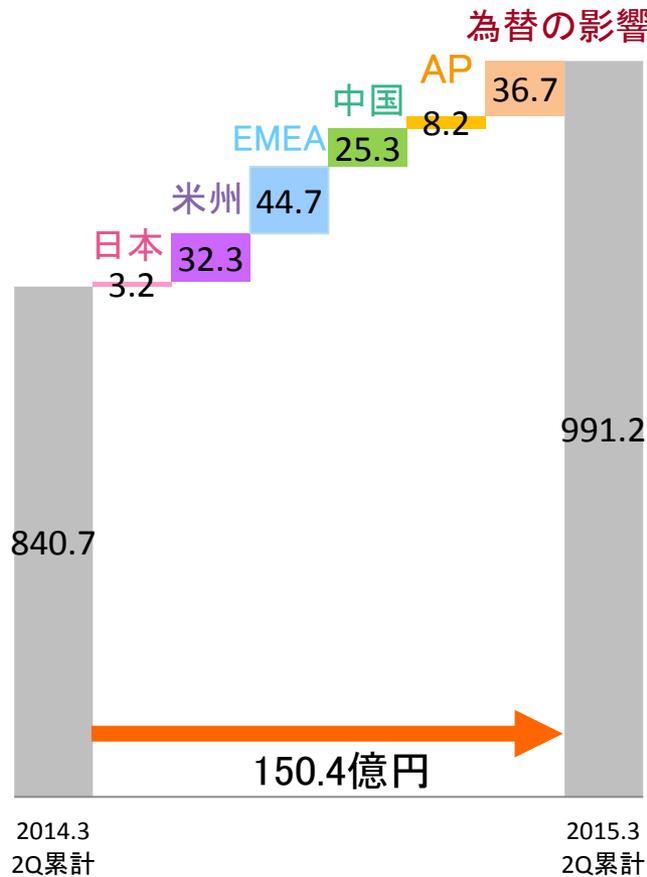
# 売上高・営業利益の増減要因



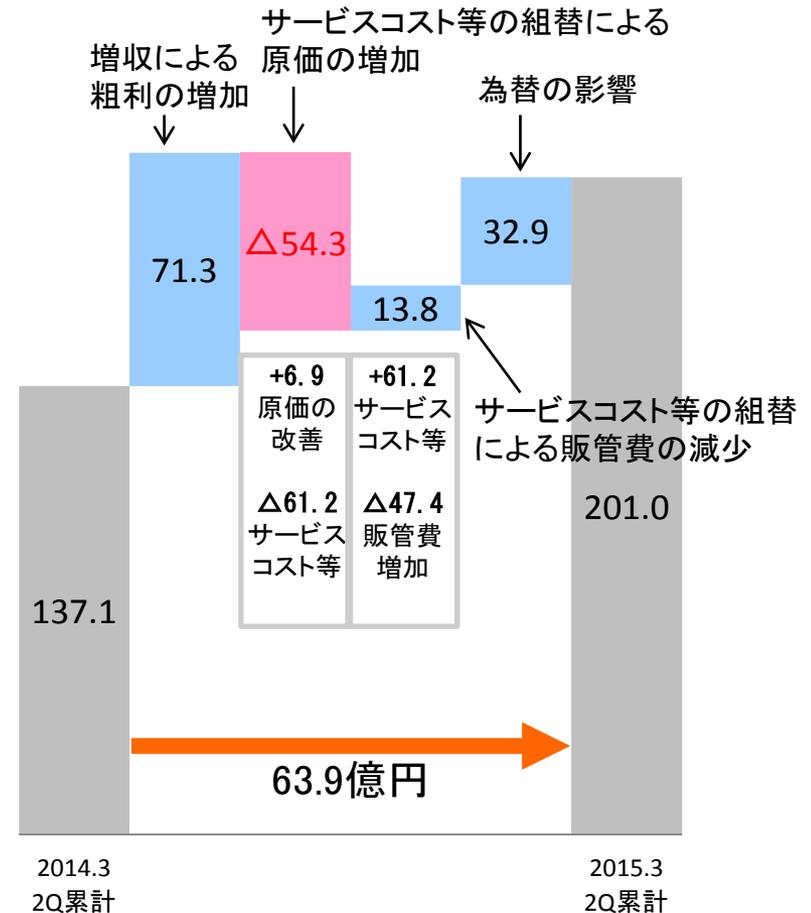
(単位: 億円)

## 売上高

※各地域の売上は為替の影響を除く



## 営業利益

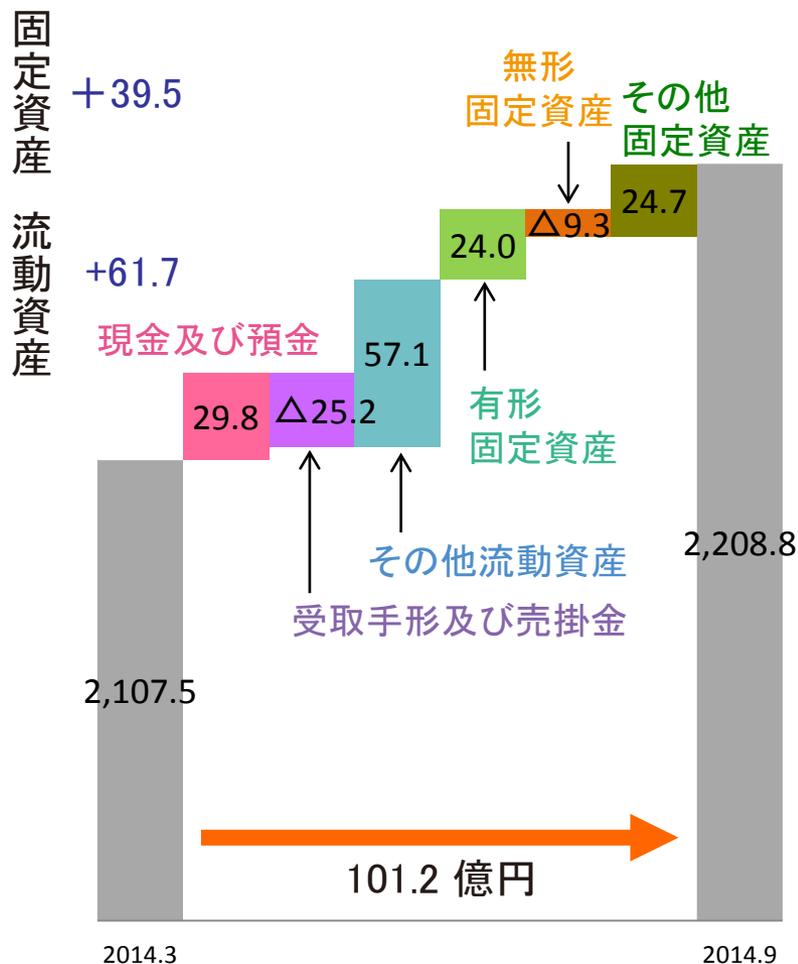


# 貸借対照表の増減要因

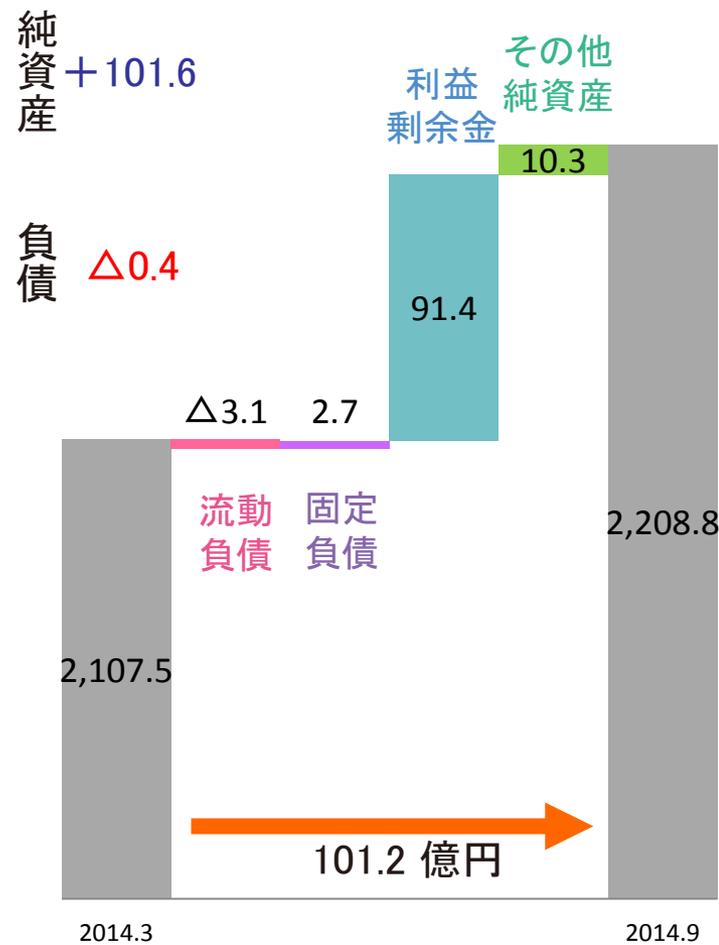


(単位: 億円)

## 資産の部



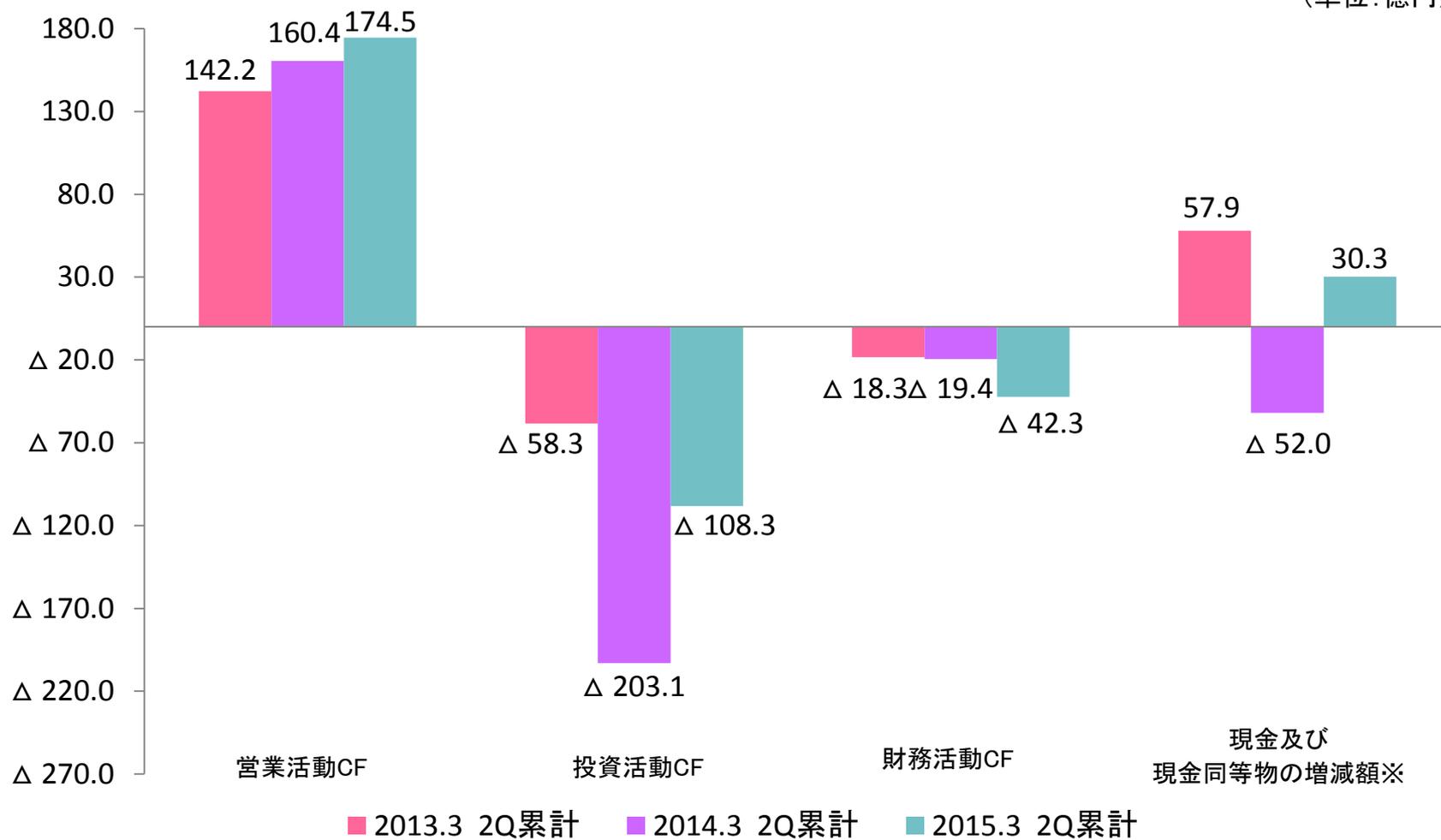
## 負債・純資産の部



# キャッシュフローの推移



(単位: 億円)



※現金および現金同等物に係る換算差額も含まれております。

## M&A・アライアンス

- Sysmex InosticsがMerck Seronoと血中遺伝子検査技術による大腸がんコンパニオン診断薬の共同開発契約を締結（5月）
- 理研ジェネシスへ出資し、遺伝子検査における研究開発および事業を推進（5月）

## 拠点整備

- インドにおけるノンヘマトロジー分野の事業拡大に向け、直接販売・サービス体制を強化（4月）
- 機器生産基幹工場「アイスクエア」を兵庫県加古川市にオープン、合わせてシスメックスRA、シスメックスメディカの2工場を拡張し、生産能力を約3倍に増強（6月）
- 需要拡大に対応するためシンガポールの試薬生産工場を移転・拡張（9月）



アイスクエア



シンガポール試薬工場が入居する建物  
Sysmex Corporation

## 製品・技術

- アトピー性皮膚炎の検査試薬「HISCL® TARC試薬」を発売（4月）
- 免疫血清検査の小型検査装置「全自動免疫測定装置 HISCL®-800」を発売（9月）
- 免疫血清検査装置HISCL®シリーズのさらなる高感度測定技術を確立（10月）
- 血液凝固検査分野の新モデル「全自動血液凝固測定装置 CS-2400/2500」発売（10月）



## その他

- 国内初の自動血球計数装置が「第3回分析機器・科学機器遺産」に認定
- 「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス」のアジア・パシフィック・インデックスに3年連続選定
- 日本証券アナリスト協会「個人投資家向け情報提供における優良企業」に3年連続選定



# 所在地別売上高

- 所在地別売上高  
(外部売上)

(単位: 億円)

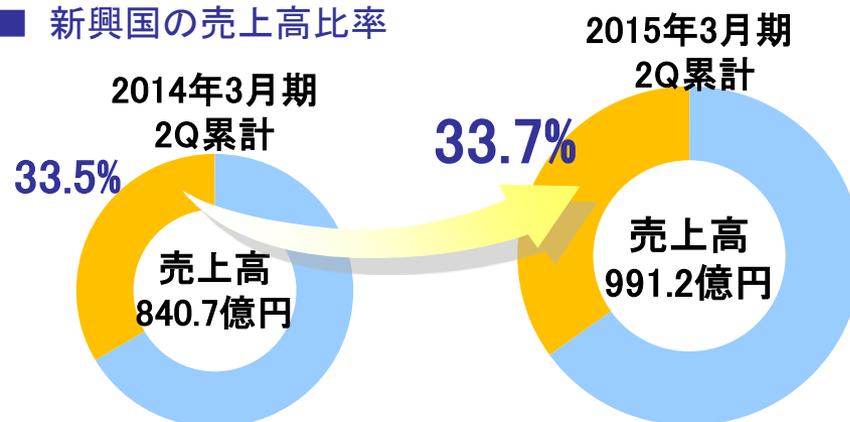
		2015年3月期		前年同期		前年同期比	
		2Q累計	構成比		構成比	(円)	(現地通貨)
売上高		991.2	100%	840.7	100%	117.9%	-
所在地別	米州	208.5	21.0%	172.4	20.5%	120.9%	<b>116.0%</b>
	EMEA	298.3	30.1%	236.8	28.2%	126.0%	<b>117.9%</b>
	中国	206.5	20.8%	172.4	20.5%	119.8%	<b>114.7%</b>
	AP	75.0	7.6%	64.4	7.7%	116.5%	-
	日本※	202.7	20.5%	194.6	23.1%	104.2%	-

※IDEXX社等含む外部売上

- 為替レート

	2015年3月期 2Q累計	前年同期
1USD	103.0円	98.9円
1EUR	138.9円	130.0円
1CNY	16.7円	16.0円

- 新興国の売上高比率



# 事業別売上高



(単位: 億円)

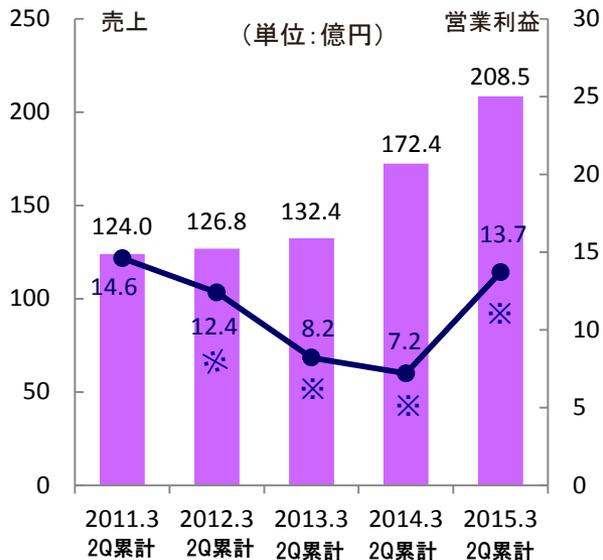
	2015年3月期		前年同期		前年同期比
	2Q累計	構成比	実績	構成比	
ヘマトロジー	638.9	64.5%	554.1	65.9%	115.3%
尿	73.3	7.4%	68.3	8.1%	107.3%
その他※1	32.8	3.3%	16.4	2.0%	200.5%
HU-BU	745.2	75.2%	638.9	76.0%	116.6%
免疫	12.6	1.3%	10.1	1.2%	124.5%
生化学	18.0	1.8%	16.4	2.0%	109.7%
凝固	151.3	15.3%	123.9	14.7%	122.2%
ICH-BU	182.1	18.4%	150.5	17.9%	121.0%
その他IVD※2	37.4	3.8%	31.7	3.8%	117.9%
IVD 計	964.8	97.3%	821.2	97.7%	117.5%
LS-BU※3	13.3	1.3%	7.0	0.8%	189.6%
その他	13.0	1.3%	12.5	1.5%	104.0%
売上高 計	991.2	100.0%	840.7	100.0%	117.9%

※1 PartecおよびLaboratory Information Systems (検査情報システム)等

※2 仕入れ商品等

※3 Inostics含む

# 米州における取り組み(所在地別)



Copyright by Sysmex Corporation

	2015年3月期 2Q累計	前年同期	前年同期比
売上高	208.5	172.4	120.9%
営業利益※	13.7	7.2	189.8%

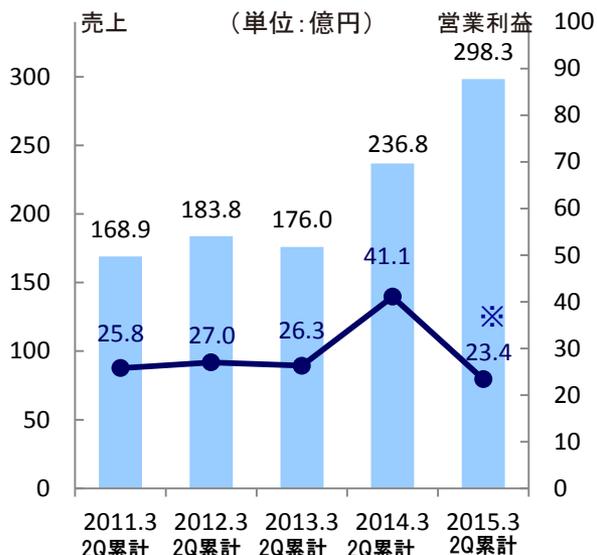
- 米国における設備投資の回復基調とXNシリーズの販売好調に伴い機器および試薬の売上が伸長し大幅増収
- グループ間取引価格の見直しの影響があるも、売上伸長による増収効果により大幅増益

- ・医療機器物品税を前年同期は売上高から1.8億円控除(利益への影響なし)
- ・サービス繰延収益の取崩に伴う一時的な売上・利益の増加(当期売上+4.2億円、営業利益+3.6億円)
- ・上記2件を除外した場合の前年同期比:売上117.3%、営業利益140.3%

■ 現地通貨ベース 前年同期比 売上高 116.0%、営業利益 182.1%※

- 米国 : 機器に加え試薬およびサービスが伸長し増収
- カナダ : 医療費予算削減が継続するも微増
- 中南米 : メキシコ、コロンビア等へのヘマトロジー製品の販売拡大により増収

# EMEA※における取り組み(所在地別)



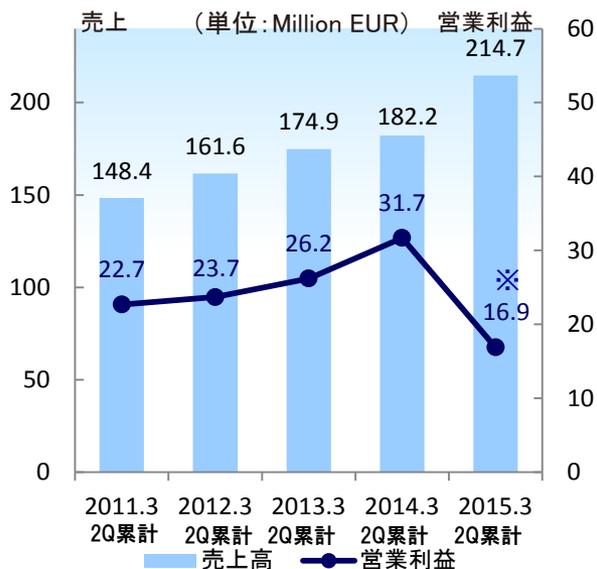
※欧州、中東、アフリカ地域

(単位: 億円)

	2015年3月期 2Q累計	前年同期	前年同期比
売上高	298.3	236.8	126.0%
営業利益※	23.4	41.1	56.9%

- ヘマトロジーや凝固分野の売上伸長に加え、Partec、Inosticsの連結の影響もあり増収
- 二桁増収も当期からのグループ間取引価格の見直しにより減益

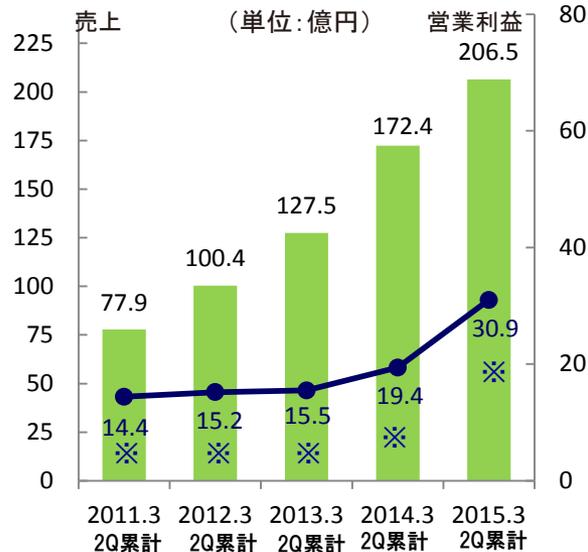
・Partec、Inosticsを除外した前年同期比: 売上119.0%、営業利益71.3%



■ 現地通貨ベース 前年同期比 売上高117.9%、営業利益 53.3%※

- 主要5カ国 : 5カ国全てにおいて増収
  - イギリス : XN販売が好調なヘマトロジーを中心に増収
  - ドイツ : ヘマトロジー試薬の伸長およびPartec、Inosticsの売上も寄与し増収
  - フランス : 検査室の統廃合により、検査の効率化ニーズが高まり、XN販売が好調に推移
- その他欧州 : トルコ直販化の影響等に伴い増収
- 東欧・ロシア : ロシアは微減もポーランド等で伸長し増収
- 中東・アフリカ : XN販売が好調なサウジアラビア等で増収

# 中国における取り組み(所在地別)



	2015年3月期 2Q累計	前年同期	前年同期比
売上高	206.5	172.4	119.8%
営業利益*	30.9	19.4	159.2%

- 市場での販売停滞による影響が一部継続するも、ヘマトロジーや凝固分野を中心に機器・試薬の売上が伸長
- グループ間取引価格の見直しの影響もあるが、増収効果により増益

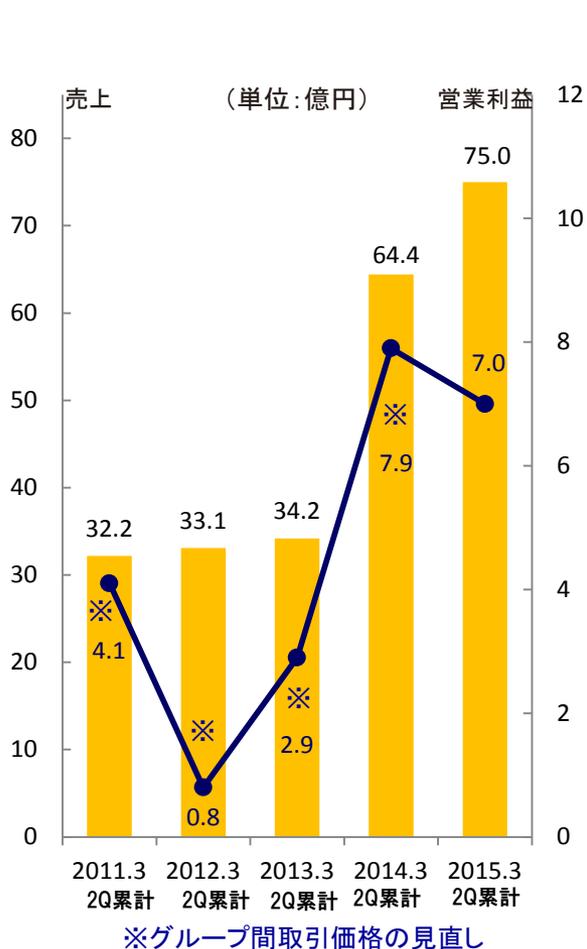


■ 現地通貨ベース 前年同期比 売上高 114.7%、営業利益 152.5%\*

- ヘマトロジー分野 :XSキャンペーンやシステム提案によるXNシリーズおよび大型案件獲得により増収
- 凝固分野 :線溶系試薬項目の需要拡大と上位機種種の拡販により増収
- 尿分野 :機器設置台数の増加により試薬売上が伸長し増収

\*グループ間取引価格の見直し

# APにおける取り組み(所在地別)



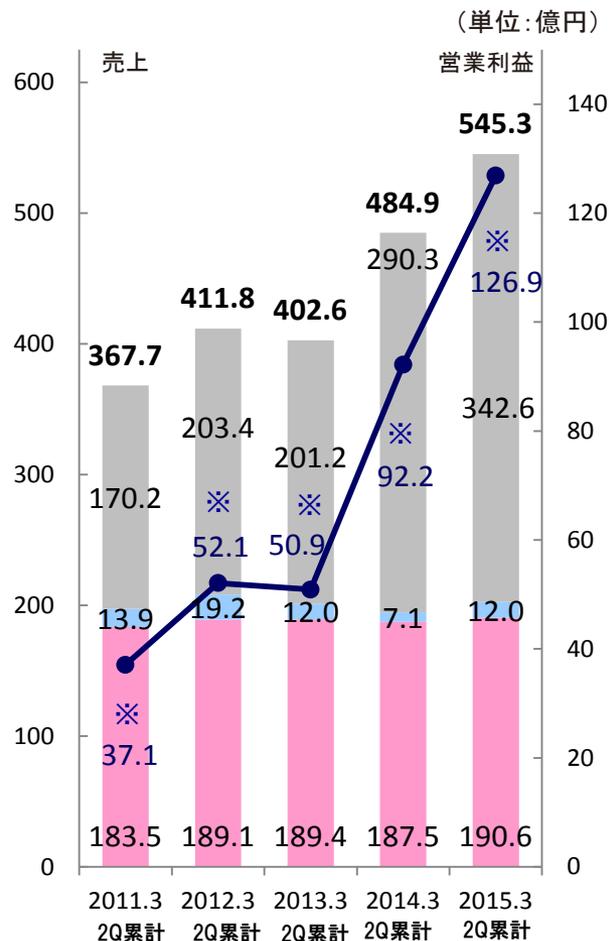
(単位: 億円)

	2015年3月期 2Q累計	前年同期	前年同期比
売上高	75.0	64.4	116.5%
営業利益	7.0	7.9	88.8%

- オーストラリアの大幅伸長がインドネシア等の減収を補い増収
- 増収となるもインドの直販化体制整備(ノンヘマトロジー)、およびシンガポール試薬工場の拡張に伴う費用の増加等により微減

- 東南アジア : インドネシアや政情不安の影響が残るタイ等で減収
- 南アジア : インドでのノンヘマトロジー分野における直販化により尿、凝固売上が増加するもヘマトロジー分野の減少により減収
- オセアニア : オーストラリアでの大手検査センターの入札案件獲得により増収
- 韓国・台湾 : ヘマトロジー分野を中心に韓国・台湾ともに増収

# 日本における取り組み(所在地別)



■ 内部売上高: 関係会社への輸出等  
 ■ 外部売上高: IDEXX社等  
 ■ 外部売上高: 日本  
 ● 営業利益  
 ※グループ間取引価格の見直し

(単位: 億円)

	2015年3月期 2Q累計	前年同期	前年同期比
売上高	545.3	484.9	112.5%
外部	202.7	194.6	104.2%
日本	190.6	187.5	101.7%
IDEXX社等	12.0	7.1	169.6%
内部	342.6	290.3	118.0%
営業利益※	126.9	92.2	137.6%

- 日本市場は消費税増税による影響もあり、横ばいとなるもグループ関係会社（海外）向けの内部売上の増加およびグループ間取引価格の見直しの影響により増収増益

➢ 日本: ヘマトロジーや免疫分野の売上が増加となるも、消費税増税の影響もあり横ばい

➢ IDEXX社等: 機器売上が好調に推移し増収

## Chapter 2

---

# 2015年3月期 業績予測

# 免疫事業の取り組み



## 2015年3月期 3Qより、日本に加え中国・APで免疫製品の販売開始

	年間目標 (億円)	2015年3月期	2016年3月期～
中国	6 ⇒ 16	HISCL-5000/2000i ★ 感染症(8項目) ★ 腫瘍マーカー ★ 凝固分子マーカー ★	HISCL-800 ★ 腫瘍マーカー ★ 凝固分子マーカー ★
AP	1 ⇒ 1	申請中(機器・試薬) ★ ※一部の機器は認可取得済 フィリピン、モンゴル: 機器・試薬認可済 各1台販売 ★	韓国 ★ インドネシア ★ ※順次、地域拡大
日本	HISCL-5000/2000i ★ (試薬: 33項目発売: 2014年9月末時点) 28 ⇒ 28	HISCL-800 ★ M2BPGi(肝線維化マーカー) ★ TARC(アトピー性皮膚炎マーカー) ★	HISCL-800 ★ 保険収載(予定) ★

2015年3月期 免疫事業売上目標  
35億円 ⇒ 45億円へ修正



Sysmex Corporation

# 連結 通期業績予想

※2014年5月公表より修正  
 ()内は2014年5月公表数値



## 2015年3月期 連結業績予想

- 売上高 : 2,100億円
- 営業利益 : 410 ( 360 )億円
- 経常利益 : 407 ( 360 )億円
- 当期純利益 : 249 ( 220 )億円
- 営業利益率 : 19.5% (17.1%)
- 経常利益率 : 19.4% (17.1%)
- 当期純利益率 : 11.9% (10.5%)

### 投資計画

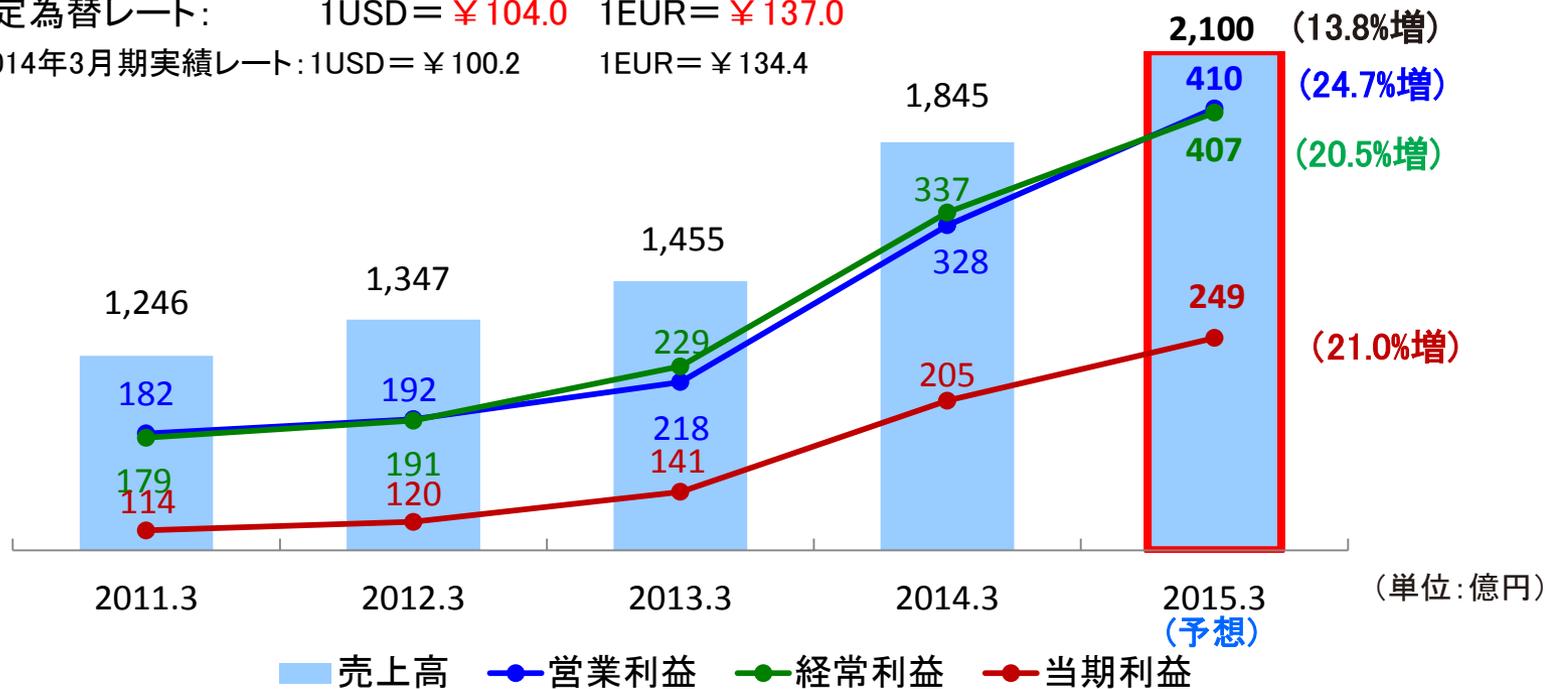
- 設備投資 : 140億円
- 減価償却費 : 110億円
- 研究開発費 : 145億円

期初想定為替レート: 1USD = ¥ 100.0 1EUR = ¥ 135.0

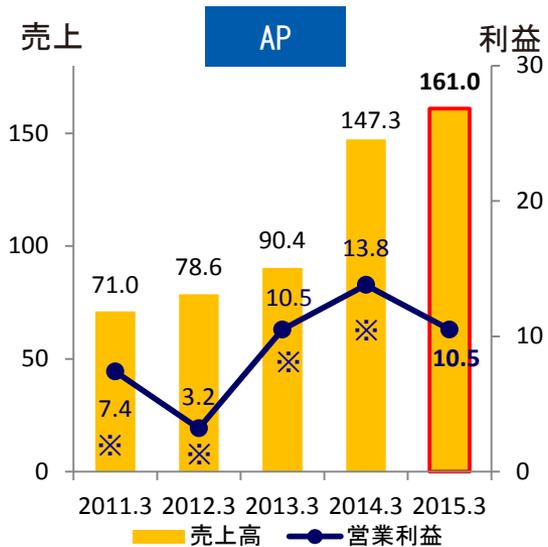
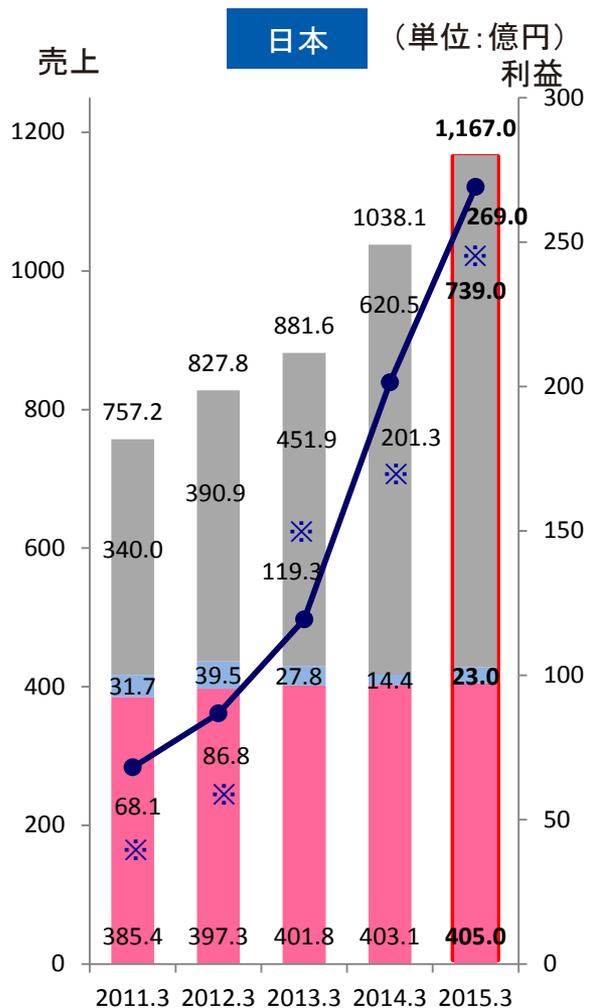
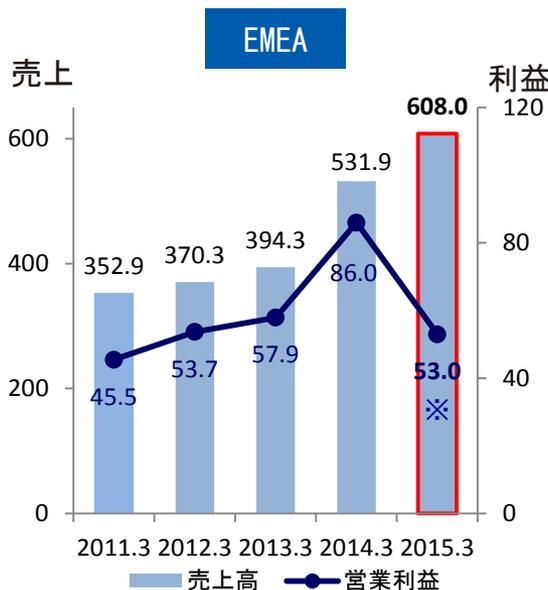
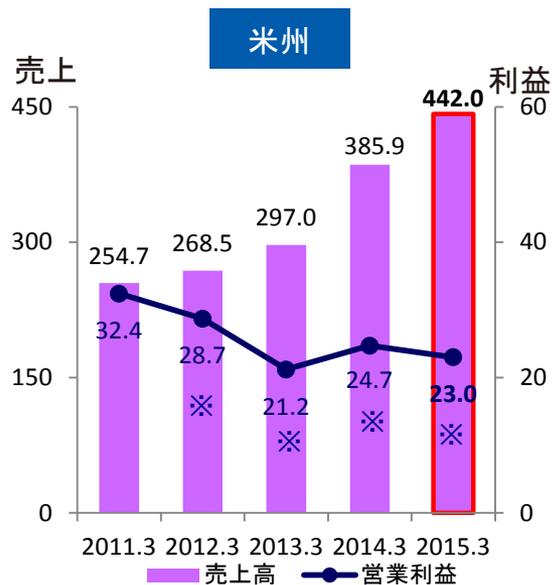
下期想定為替レート: 1USD = ¥ 105.0 1EUR = ¥ 135.0

通期想定為替レート: 1USD = ¥ 104.0 1EUR = ¥ 137.0

※2014年3月期実績レート: 1USD = ¥ 100.2 1EUR = ¥ 134.4



# 所在地別 通期業績予想 (2014年5月公表より修正)



内部売上高: 関係会社への輸出等  
 外部売上高: IDEXX等  
 外部売上高: 日本  
 営業利益

# 予想配当額 13期連続の増配(予想)



- 年初予想(中間・期末14円)に対し 各2円の増配

	中間	期末	年間	配当性向
2015年3月期 年初予想	14円	14円	28円	26.4 %
2015年3月期 今回予想	16 円	16円	32円	26.6 %

## 参考情報

---

# ①前期からの主な変更点

※P23(参考情報)参照

- (1) 製品運送費を販売管理費から売上原価に変更
  - ※2014年度3月期についても遡及適用
  - ・2014年3月期第2四半期累計 : 販売管理費→売上原価: 5.4億円
  - ・2015年3月期第2四半期累計 : 販売管理費→売上原価: 6.7億円
- (2) 機器製品のサービスコストを販売管理費から売上原価に変更
  - ・2015年3月期第2四半期累計 : 販売管理費→売上原価: 61.2億円
- (3) 米州のサービス繰延収益の取崩に伴う一時的な売上・利益増加
  - ・2015年3月期第1四半期のみ売上+4.2億円、営業利益+3.6億円
- (4) 2015年3月期第2四半期累計には以下の関係会社を含む  
Partec、Inostics、シスメックストルコ、メディカロイド、理研ジェネシス
- (5) グループ間取引価格の見直し
  - 米州、EMEA、中国、日本 ※EMEAは当期より初めて実施

## ② 2015年3月期第2四半期累計



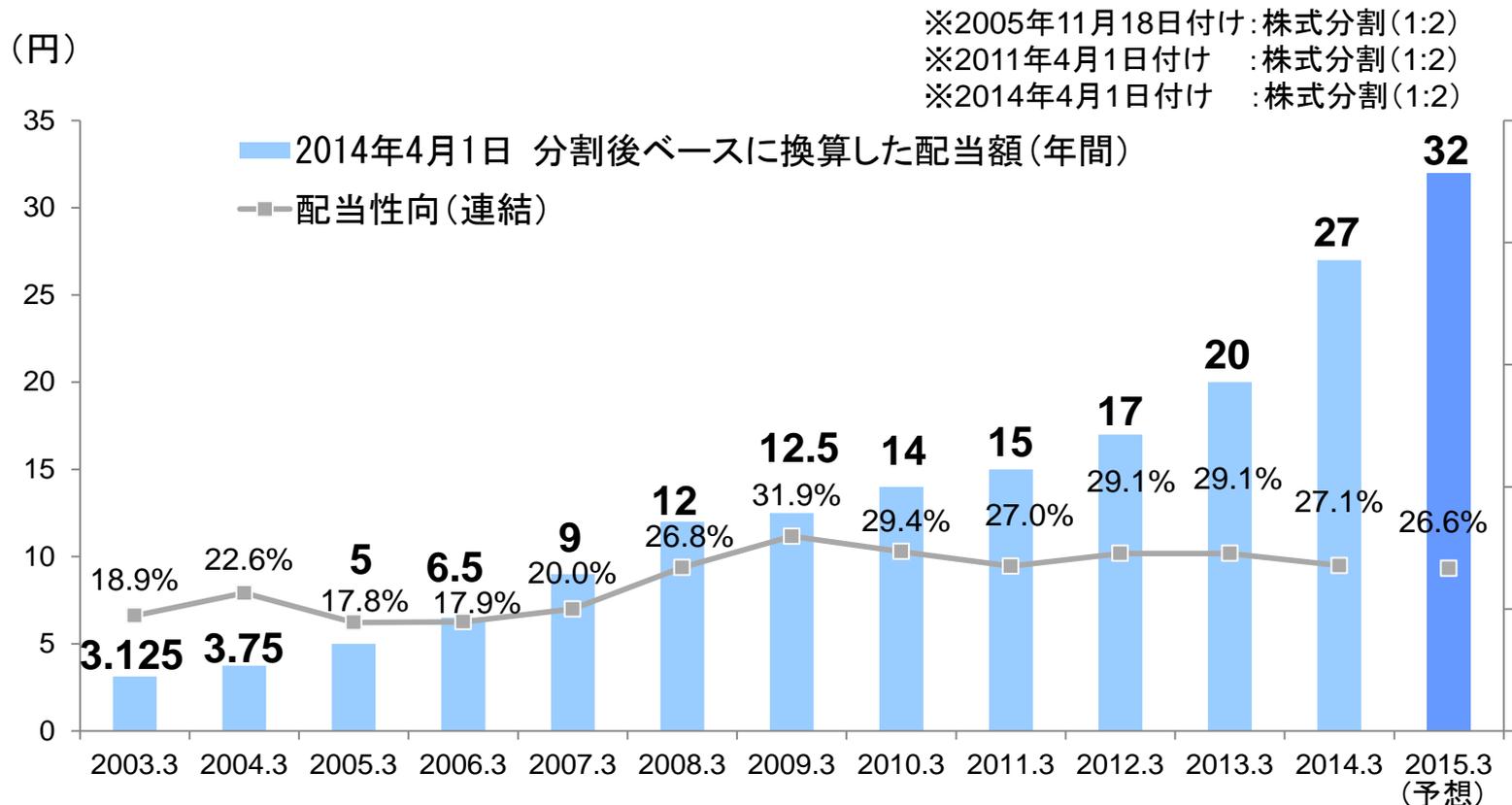
(単位:億円)

	2014年3月期 2Q累計		2015年3月期 2Q累計 (会計表示の組替等①②を 除外した数値)			会計表示の組替等		2015年3月期 2Q累計	
	実績	構成比		構成比	前年 同期比	①サービス コスト	②サービス 繰延収益 の取崩	実績	構成比
売上高	840.7	100%	987.0	100%	117.4%	-	4.2	991.2	100%
売上原価	※ 312.8	37.2%	342.6	34.7%	109.5%	61.2	0.6	404.4	40.8%
売上総利益	※ 527.9	62.8%	644.3	65.3%	122.0%	△61.2	3.6	586.7	59.2%
販売管理費	※ 390.8	46.5%	446.9	45.3%	114.4%	△61.2	-	385.7	38.9%
営業利益	137.1	16.3%	197.4	20.0%	144.0%	-	3.6	201.0	20.3%

※製商品を顧客へ届けるための送料を販売管理費から売上原価に計上する方法にグループ内で統一しました。  
2015年3月期2Qに加え、2014年3月期2Qも遡及適用後の数値となります。

### ③ 13期連続の増配(予想)

シスメックスは、安定的な高成長を持続させるための積極的な投資と、収益性の向上に伴う株主の皆様に対する利益還元との適正なバランスを確保することを目指しております。株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行うという基本方針のもと、連結での配当性向20%を目処に配当を行ってまいります。



# We Believe the Possibilities.

**シスメックス株式会社**

〈お問合せ先〉

シスメックス株式会社 IR・広報部

・電話：078-265-0500

・メールアドレス：info@sysmex.co.jp

[www.sysmex.co.jp](http://www.sysmex.co.jp)